

帝  
釈  
峽

上・下帝釈峽に来て見て撮って

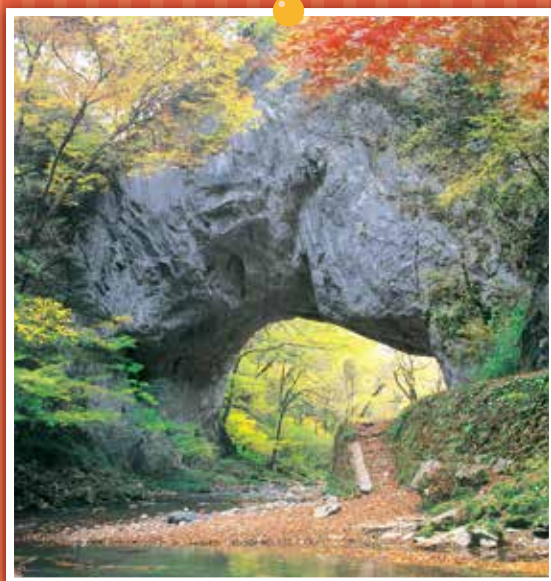
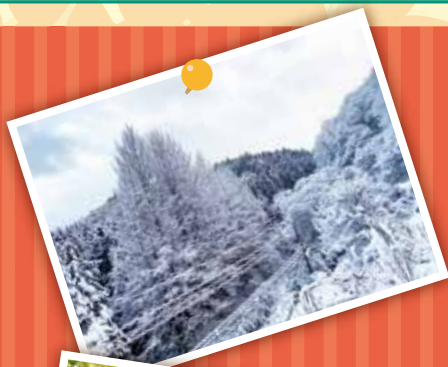
思い出に残したい!



# フォトコンテスト

募集  
期間

2022年10月24日(月)～2023年1月31日(火)



## 募集 内容

帝釈峽で写した写真を応募ください。  
風景や建物、帝釈峽遺跡、偶然の出会いなど  
帝釈峽のすばらしさをご紹介ください。



### 応募資格

どなたでも応募できます。

### 応募条件

作品は未発表のもののみ応募可能です。撮影時期は問いません。

### 応募方法

2Lか4つ切りサイズでプリントしたものを応募。

### 賞

- 金賞〈1点〉商品券 3万円分
- 銀賞〈1点〉商品券 2万円分
- 銅賞〈3点〉商品券 1万円分
- 会長賞〈2点〉商品券 5千円分
- 特別賞〈3点〉商品券 5千円分
- 入選〈10点〉商品券 3千円分

### 入賞作品

電子データまたはネガを提出いただきます。  
観光推進のために展示会や広報で使用いたします。

応募詳細は裏面でご確認ください。



# 帝釈峡フォトコンテスト 応募用紙



記入事項	記入欄		
(ふりがな) 氏名			
住所	〒		
電話番号	(            )	—	年齢            歳
撮影日	年            月            日	不明	
撮影場所			
作品タイトル			
保護者同意欄 <small>中学生以下の応募の場合</small>	保護者氏名 保護者住所		
コメント			

写真1枚に上記応募用紙を添えて、郵送か持ち込みで帝釈自治振興センターに応募ください。

送付先 帝釈自治振興センター 〒729-5244 庄原市東城町帝釈未渡2021 電話 08477-6-0055

## <応募規定>

- 帝釈峡の周辺で撮影された写真であること。
- 撮影者本人の作品であること。
- 作品は、著作権や肖像権、プライバシーを侵害する恐れのない作品に限ります。
- 作品に人物が含まれる場合には、応募者は、主催者による応募作品の利用範囲を被写体本人に説明のうえ、必ず承諾を得てください。(未成年者の人物が写っている場合は写っている人物の保護者の了承が必要です。)
- 写真は他のコンテスト等で未発表のものに限ります。他のコンテスト等に応募中または応募予定の場合は応募できません。
- 撮影時期は問いません。過去に撮影した写真でも未発表のものであれば応募できます。
- 写真の加工について、トリミング、ホワイトバランスの補正、解像度や画像フォーマットの変更程度であれば問題ありませんが、極端な画像加工は審査員の判断により審査の対象外になる場合があります。
- 画像合成、組み写真等は審査の対象外とします。
- プリントサイズ 2Lサイズ(キャビネ又はB6サイズ)から、4つ切(又はA4サイズ)を推奨します。
- カラー・モノクロの別は問いません。
- スマートフォン等で撮影されたものでも応募可能です。

## <注意事項>

- 応募は1人3点までとします。但し受賞は1人1点とします。応募の際は、応募1点に対して応募用紙1枚をつけてください。
- 応募された写真プリントは返却しません。
- 入賞後に本会が認めた範囲を超えた加工と判断した場合や、不適切と判断した場合は、入賞を取り消す場合があります。
- 応募された写真は、広報物の作成や加工をする場合があります。各種イベント、広報活動、展示会等に使用される場合があります。
- 入賞作品は、著作権等応募された写真・データに関する全ての権利を帝釈自治振興区に帰属すること、並びに著作者人格権を行使しないことに同意いただいたものとしますのであらかじめご了承ください。
- 応募された作品が入賞した場合、上記広報物の作成や利用促進に活用するため、電子データまたはネガの提出をお願いします。
- 帝釈自治振興区は、応募者から提供された個人情報について、フォトコンテストの実施以外の目的には利用しません。入賞作品については、帝釈自治振興区が管理を行うウェブサイト、写真展、印刷物、広告宣伝物等において、入賞者の氏名、撮影場所を公表できるものとします。
- 審査選考に関するお問合せおよびご要望には応じかねます。
- 応募者が応募された時点で記載されている諸条件に同意したものとみなします。本注意事項に明記されていない事項については、帝釈自治振興区が最終的な決定権をもつものとします。その際、帝釈自治振興区の決定に同意できない場合は、応募者は応募を撤回することができます。なお、応募の撤回にともなう費用は、すべて応募者の負担となります。
- 応募に際して、第三者からの苦情や異議申し立てに関し、帝釈自治振興区は当該紛争には一切関知せず、応募者が責任を持って解決するものとします。また、その場合において何らかの損害が生じた場合においても、帝釈自治振興区は一切の責任を負いません。